

東洋整体術®
とうようライフ
健僚

東洋整体術・東洋カイロプラクティック師協会 事務局

Support Your Healthy of life

2012/9/1 vol.17

www.rev.co.jp

四季のコラム

自らの体質を知り
身体の声を読みとろう

季節の知識

東洋医学にみる
秋の過ごし方

特集

小室山
森のぞうがん美術館

スポーツ東洋整体術
実践レポート

協会員探訪記

かなざわ整体療術院

健康対談

vol.16 今世紀最大の贈り物
ニームを世界へ

NPO法人
日本ニーム協会 会長

いなば さねすみ
稲葉 眞澄 氏

ラオスフェスティバル
2012 出展レポート

悟道塾

全ては 未来が我を育む

今世紀最大の贈り物 ニームを世界へ

国際ボランティアとニーム発信のパイオニア
稲葉真澄氏のアイデアと実行力

健康アナリスト 鳥澤哲男の
健康対談

第16弾

日本ニーム協会 会長

いなば さねすみ
稲葉 真澄 氏

今回の健康対談のゲストには、世界各国で国際ボランティアを行う一方で、日本で初めて世界にニームを発信し、ニーム協会を設立した稲葉 真澄 氏をお迎えしました。

ニームの素晴らしい特性、現在行っているボランティア活動やこれからの展望等、様々なお話を伺いました。

対
談
者
プ
ロ
フ
イ
ー
ル



日本ニーム協会 会長 稲葉 真澄 氏

1947年8月8日午前5時30分生まれ
ラオス人民民主共和国にてニームと初めて出会う。
2001年 NPO法人 日本ニーム協会を設立
2004年～ 国連工業開発機関(UNIDO)支援の下、インドにて、学校建設・井戸掘り・溜池造り・植林プロジェクトをスタート。10年プロジェクトで現在進行中
2006年 カンボジアに日本ニーム協会の支部を設立
国際教育支援ボランティア組織 サバジャパンクラブ代表



悟道会 会長 鳥澤 哲男

東洋カイロプラクティック専門学院 学院長
東洋カイロプラクティック師協会 会長
東洋カイロプラクティック専門学院付属療術センター 総院長
中国上海中医薬大学付属上海気功研究所修業 気功師
上海気功研究所主催2004年世界気功大会 日本代表
医療催眠療法師・臨床催眠術師(自己開発研究所 元所長)
(財)日本ウェルネス協会認定ウェルネスプロフェッサー
現在各方面にて健康アナリストとして活躍中!

ニームとの運命の出会い

「国連の報告書に“今世紀最大の贈り物 ニーム”という文章を見つけたんです。その時、『おっと、宝物を見つけちゃった』と思いました。それと同時に、国際ボランティアの最中に見つけたものだから、世のため人のために使わなければ意味はないだろう、と思いました。」

鳥澤会長 私も、稲葉会長と知り合うまではニームの素晴らしさを知らなかつたわけですが、日本でのニームの認知度というのはどうでしょうか。

稲葉会長 非常に低いです。今まで日本になかったですから。僕自身も15年前にラオスを訪れた時初めてニームの存在を知ったんです。**鳥澤会長** それは初めてですか？

稲葉会長 それは初めてですが、私もラオスには行ったことがありますが、ニームのことは知らなかった。**稲葉会長** 僕は30年来、国際ボランティアをやっているんです。海外に学校を建てたり、農業支援・指導をしたり。その活動の二環として、ラオスにも学校を建てたんです。**鳥澤会長** そんな活動もされていらっしゃるんですか。素晴らしい。

稲葉会長 ラオスでは学校を建てても、貧しすぎて通学が出来ない。また、戦災孤児が非常に多いんですね。残念なことに、女の子が売春婦として他国に売られたり…。そういう事実を目の当たりにして、なんとかこの国で成立する仕事を見つけ、広めなければ、と思いました。その後、筑波にある農林省の研究所で養蚕の研究を学んだ事がありました。蚕の餌である桑の葉が病気になるってしまったり、虫に食われてしまふことがありました。その時、ラオスの桑の葉を思い出したんです。ラオスでは、貧しさゆえに農業を使うことがほとんどないんですが、それでも、桑の葉はともきれいだっただんです。これはどういふことなんだろうかと思って、ラオスの林野庁長官に尋ねたところ、虫の寄らない木を植えているという回答が返ってきた。そして、その木がニームだったんです。

鳥澤会長 運命の出会いですね。

稲葉会長 はい。その後、日本に帰ってニームについての研究を始めました。研究を進める中で、1960年代の国連の報告書に、「今世紀最大の贈り物 ニーム」という文章を見つけたんです。その時、『おっと、宝物を見つけちゃった』と思いました。それと同時に、国際ボランティアの最中に見つけたものだから、世のため人のために使わなければ意味はないだろう、と思いました。

鳥澤会長 ニームは、ラオスでは多く栽培されているんですか。

稲葉会長 いいえ。そんなに多くありません。その時は、僕の関係者であった博士がニームの植林を推奨し

ていたので、たまたま知ることができたんです。原産国であるインドやミャンマーに行くと、たくさん栽培されています。

日本での普及に向けて

「ニームは、とにかく多用途に利用できますから、これから、一気に注目度は上がっていくと思います。」

鳥澤会長 日本で、ニームに着目している企業はあるのでしょうか。

稲葉会長 日本の企業はこれからなんです。ブラジルで成功された日系人の方はいらつしやいます。この方は、ニームの木に胡椒のツルを巻きつけて、有機の胡椒を栽培したんです。また、ブラジルで大臣になられた方も、ニームの販売をされています。やはり、有機農法の切り札として、ニームを使っているわけです。**鳥澤会長** これから、日本にニームを普及させるために、どんな方法をお考えですか。

稲葉会長 温暖化の時代ですから、

日本も徐々に亜熱帯化していくと思います。それに伴い、鳥蚊が増えてくるでしょう。そこで、ニームを栽培することで、マラリアの予防につながるのかもしれないと思います。あとは、鯉ヘルペスの問題。霞ヶ浦の鯉がヘルペスに感染した時、ニームで対応を考えないか提案したことがありますが、ニームの成分はウイルスに対応できるという特徴があります。だから、ヘルペスや鳥インフルエンザへの対応が可能なんです。

鳥澤会長 ニームは、漢方のように、煎じたりして飲むことができるんですか。

稲葉会長 そうですね。葉のエキスを錠剤にしたり、カプセルにしてもいいです。製薬会社をはじめ、ペト業界でも、一部の企業が着目していますね。アトピー用の生地を研究している大手企業もあります。ニームは、とにかく多用途に利用できますから、これから、一気に注目度は上がっていくと思います。



ニーム発信の先駆者として

「僕がニームに携わっている理由のひとつとして、環境の切り札になるということが挙げられます。CO2の排出取引など、これからの環境問題を考えると、貧しい国への最大の贈り物になると思います。」





稲葉会長 僕がニームに携わっている理由のひとつとして、環境の切り札になるといえることが挙げられます。アフリカは、一部の国を除き、ほとんど産物がないんですよ。CO2の排出取引など、これからの環境問題を考えると、貧しい国への最大の贈り物になると思います。もうひとつは、ニームが、国連が認知し、推奨している植物だということ。2001年、PCB、DDT等の残留性有機汚染物質の廃止や排出の軽減を行っていくストックホルム条約が締結されました。そして、代わりの生物農薬として、ニームを認めているんです。その時の国連の代表であるモハメド・エイサー博士には2回ほどお会いしました。そし

て、ぜひ一緒にニームを広めようというお話をさせていただきました。その後、2007年、国連大学において、国際連合工業開発機関と共催で、ニームセミナーを開きました。そこから、世界に向けてニームを発信したという経緯があります。
鳥澤会長 日本においては、稲葉会長がニーム研究・発信の先駆者ということになりましたね。
稲葉会長 もっと前から研究や販売をしている方はいらっしゃいます。が、協会をつくり、広く発信を試みたのは僕が初めてだと思います。やはり、国際ポランテアを行っている事もあり、商売ではなく、世界に広めなければいけないという意識が強かったんです。
鳥澤会長 地道にやっていくことが大切だと。
稲葉会長 そうですね。僕は、ニームが人類を救うひとつのカードになると思っています。
鳥澤会長 貧しい国が多い亜熱帯・熱帯の地域ではニームが栽培しやすい。ニームは、経済支援の起爆剤になるでしょうね。最近では、日本の伐採問題が取り上げられますが、ニームは建築資材としても使えるのでしよつか。
稲葉会長 可能だと思います。原産国では、家屋や牛舎等に使われています。
鳥澤会長 炭に加工することもできますか。
稲葉会長 できます。ニームは非常に密度が高くて堅い木ですから。以前、日本炭焼き協会の方と共同で、ニーム炭の開発をしようというところで、フィリピンのミンダナオに炭焼き用の窯を作ったんですよ。でも、

残念ながらアルカイダに占拠されてしまっています。未完のプロジェクトとなっております。
鳥澤会長 それは残念…。費用対効果を考えると、木材を持つてきて加工ということは難しいですね。日本で作って、日本で加工出来ればベストですね。
稲葉会長 それも可能ですが、僕はその方法は考えていません。やはり、貧しい国の産業開発、雇用の促進、環境問題を第一に考えているので。そこに僕の国際ポランテアの意図があるんです。
鳥澤会長 それは素晴らしい考えですね。

ニームで農業大改革

「僕は、農家の方々の健康がずっと不安だった。良いものを作るには、生産者の健康状態も良くなければならない。消費者を護る前に、農業生産者を護りたいんです。その目標を徹底してやってきました。」

稲葉会長 僕がニームを通じた活動を続けている理由がもう一つあって、日本の農業生産者を保護したいという思いがあるからなんです。



2004年、有機農業推進法案を作る時に、国会に呼ばれまして、16名の有機農業推進連盟の議員に対して、ニームの紹介をしました。僕が呼ばれたのが11月17日、12月8日に法案提出、12月15日に法案成立という運びとなりました。
鳥澤会長 ニームのエキスを農薬や肥料の代わりに使うということですか。
稲葉会長 ニームの実を絞ったカス「ニームケーキ」と呼ぶんですが、そのニームケーキを土壌に混ぜて土壌を改良するんです。また、ニームの農業的特徴は、線虫(土の中の虫。約一萬種類存在する。)に効くこと。アメリカやヨーロッパでも、ニームを認証し、有機農法に使われています。
鳥澤会長 そんなにすごい性質を持つニームを、日本はまだ認知していない…。
稲葉会長 そうなんです。でも、これから、TPPの問題で事態は変わってくると思います。TPPに日

本が参加すれば、自ずと、ニームを使うようになるでしょう。日本が抱えるアトピーの問題や農業関係者の農業被害の問題を考えると、ニームを使わずにはいられないと思います。先日、兵庫にある但馬農業高校の教師から、教材としてニームを使いたいというオファーがありました。また、農協の職員がニーム協会の会員になったりと、今までは違った動きが出てきています。
鳥澤会長 時代が変わってきましたね。
稲葉会長 はい。やっと、「本当に良いものを使っている」という意識が高まってきたことの徴だと思えます。僕は、農家の方々の健康がずっと不安だった。良いものを作るには、生産者の健康状態も良くなければならない。消費者を護る前に、農業生産者を護りたいんです。その目標を徹底してやってきました。

これからの展望と健康法

「一番の健康法は、二十年来続けて炭を食べていることです。それと、ニームのお茶を一日十杯以上飲むこと。これは、ガンジーも行ってた健康法です。」

きな絵を描きながら、日々の対応を行っています。

鳥澤会長 スケールの大きなプロジェクトですね。

稲葉会長 そうですね。それに比べられるのがニームだと思っています。私自身も、これからの発展が本当に楽しみです。

鳥澤会長 会長もまだまだ年とは違っていらっしゃいますね。現在、実践されている健康法等はありますか。

稲葉会長 一番の健康法は、20年来続けて炭を食べていることです。それと、ニームのお茶を一日10杯以上飲むこと。これは、ガンジーも行ってた健康法です。

鳥澤会長 ガンジーも一伝統的な健康法なんですね。ニームのお茶と言うのは、どんな味がするんですか。

稲葉会長 非常に苦いです。でも、徐々に慣れていきます。苦味は「キレ」ですから、非常に後口がスカッとします。紅茶や麦茶で割って飲むと良いですよ。あと、健康法といったら、人を食って生きていくことかな(笑) ストレスを溜めないようにね。そして、僕が行く国は電気・水道の無い場所が多いです。20年、その国で一番貧しく、危険な場所しか行かないようにしています。命がけで、そこに施しをしよう。そして、毎日唱えるんです。『衆生無辺誓願度』(我誓って全人類のために尽くす)と。

鳥澤会長 こんな方が日本にいらっしやるなんて、改めて感動してしまいます。これからも、日本の未来を明るくするであろうニームの普及と、ニーム協会のご発展に大きく期待しています。今日は、本当にありがとうございました。

鳥澤会長 これからの活動としては、どんな構想がありますか。

稲葉会長 今、インドで10年プロジェクトとして、学校建設・井戸掘り・溜池造り・植林を進行中ですので、そちらを引き続き行っていきます。

鳥澤会長 日本においては、どんな協力を得られたら良いと思いますか。

稲葉会長 将来的には、国家プロジェクトとするために、ODA(政府開発援助)に入れていただく事を考えていますが、まずは、個人的な友好関係の中でできることを行っていきたいと思います。僕は現在、ニームを通じて27ヶ国と対応をしていますが、最終的には、赤道直下の100ヶ国以上の国でニームを育てていきたいと思っています。そうすることで、ニームを環境問題の切り札にしていきたいのです。そうやって大



NPO法人 日本ニーム協会のご案内

NPO法人 日本ニーム協会は2001年に発足し、「人間と自然との共生」をテーマに人々の健康と健全な社会環境づくりを「ニーム」を通して広めることを目的に設立された特定非営利活動法人です。

ニームの優れた機能を最大限に活用することは、各国への植林、学校建設などの活動と連動させ、世界中の貧困に苦しむ国々に仕事を生み、子供たちが教育を受けることの出来る安心で安全な社会、環境に優しく健康的な生活を取り戻すきっかけとなることを希望しています。地球環境保全の切り札としてこの「ニーム」を提案する啓蒙活動に加え、発展途上国への社会貢献を続けて参ります。

NPO法人 日本ニーム協会の歩み

- 2001年 NPO法人 日本ニーム協会 発足
国連「残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約」にて、ニームを安全農業として認証
- 2002年 インドニーム財団へ加盟
- 2004年 インド・ブッダガヤへ第一回学校建設、ニーム植林
- 2005年 愛知万博アフリカ館、スーダンのブースにてニーム出品
- 2006年 厚生労働省、ポジティブシステムにてニームオイルとアザテリラクチンの二種を安全食品として認める
「有機農業推進議員連盟」総会にて、会長によるニーム講演(参議院議員会館にて)
有機農業の推進に関する法案可決
- 2007年 国連大学にて国際連合工業開発機関 (UNIDO) と共催にてニームセミナーを行う
- 2008年 日本臨床代替医学会と学術交流協定を結ぶ
※毎年、3月・10月に日本ニーム協会 報告会を開催

NPO法人 日本ニーム協会 入会案内

日本ニーム協会の設立の趣旨にご賛同いただける方々に入会を希望致します。

会員・年会費

法人会員	100,000円
個人会員	3,000円
特別法人会員	

ニームに関する質問や相談への指導
情報提供、協会主催の講演会等への参加
会員価格での商品購入
協会のプロジェクトに関する共同活動
ニーム商品の共同開発、開発協力など

活動への寄付のお願い

日本ニーム協会設立以来、ニーム植林、学校建設など発展途上国への支援を続けています。共感くださる方々からの各国へのプロジェクト資金の援助をお願いしています。援助資金は、出来る限りを尽くし、困っている国々への自然環境保全、教育、医療へと役立てて参ります。

お申し込み・お問合わせ

NPO法人 日本ニーム協会
〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂2-15-1 ノア道玄坂311
TEL: 03-5784-3425 FAX: 03-5784-3429
MAIL: info@nihon-neemkyokai.com HP: www.nihon-neemkyokai.com